

あすも、みらいも、すこやかに

先端の創薬を通じて
人々の健康と明日の社会に貢献する

第1期 〔中間期〕



あすか製薬ホールディングス株式会社

株主の皆さまへ

「スペシャリティファーマを基盤とするトータルヘルスケアカンパニー」を目指し 「あすか製薬ホールディングス 中期経営計画2025」がスタート

株主の皆さまには格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。おかげさまで当社はあすか製薬ホールディングス株式会社として新たにスタートを切ることができました。これも株主の皆さまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

第1期前半(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業概況をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期は、中核子会社であるあすか製薬が展開する医薬品事業において、内科、産婦人科、泌尿器科の重点3領域に注力し、薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。内科領域の主力品である「チラーゼン」が堅調な売上高を維持したほか、「リフキシマ」も好調に推移し、産婦人科領域においても、「レルミナ」「フリウェル」が大幅に伸長しました。

CDB-2914(ウリプリスタル)の承認申請を取り下げ、開発を中止したことにより特別損失を計上しましたが、医薬品事業は堅調に推移し、売上高は256億1千9百万円、セグメント利益は27億9千7百万円となりました。

あすかアニマルヘルスおよびあすか製薬メディカル

を中心としたその他事業につきましては、動物用医薬品事業における畜産薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移し、売上高28億5千7百万円、セグメント利益は2億2百万円となりました。

当社は本年4月から「あすか製薬ホールディングス 中期経営計画2025」をスタートいたしました。

中核となる国内医薬品事業においてスペシャリティ領域でリーディングカンパニーへ成長するとともに、オープンイノベーションの推進により、社会が必要とする医薬品を生み出すことで医療に貢献し続けたいと考えております。

また、アジアを中心に海外事業の展開を進めるほか、トータルヘルスケア実現に向けた新たな価値提供として、アニマルヘルス事業において畜水産領域の繁殖・免疫と栄養の強みを伸ばすとともに、コンパニオンアニマルの健康を支えてまいります。

当社グループは、これからも売上拡大を目指しながら、業務効率化・コスト削減・財務基盤の強化を推進し、収益体質の強化に努めてまいります。そして、本中期経営計画の数値目標である「売上高700億円、営業利益率8%、



代表取締役社長 山口 隆

ROE8%」の達成に向け、一丸となって邁進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画2025の目指す姿

スペシャリティファーマを基盤とする
トータルヘルスケアカンパニーを目指す

中期経営計画2025 数値目標
売上高 700億円 営業利益率 8% ROE 8%

外部環境の変化に対して「専門性」「生み出す力」「社会貢献」
を軸に「4つのビジョン」「7つの戦略」を立案し中期経営計画を策定

専門性

生み出す力

社会貢献

事業の概況

当第2四半期連結累計期間における当社経営成績は右記のとおりです。

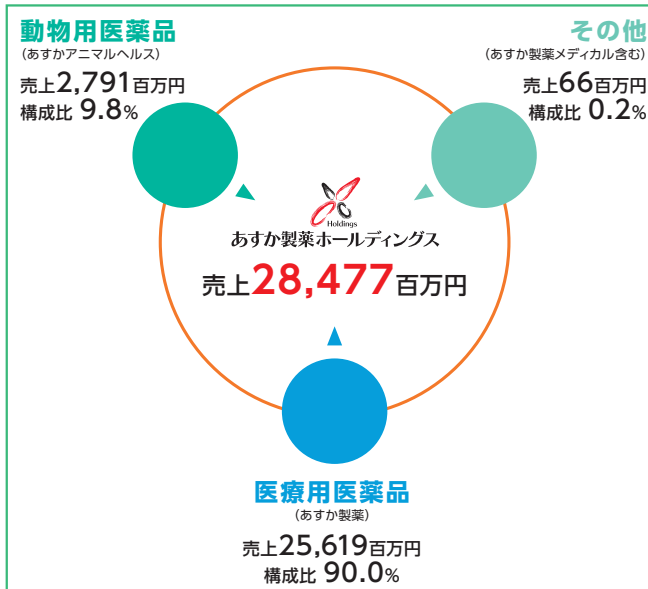
2021年9月27日に公表しましたとおり、当社連結子会社であるあすか製薬株式会社が申請したCDB-2914(ウリブリスタル)の承認申請を取り下げ、開発を中止したことにより、当第2四半期に無形固定資産の減損処理等による特別損失として6,882百万円を計上いたしました。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益 (△は損失)
2022年3月期第2四半期	28,477	2,657	2,743	△2,796
(ご参考)2021年3月期第2四半期	27,403	1,946	1,952	1,552

(ご参考)2021年3月期第2四半期実績はあすか製薬株式会社として公表した数値です。

【各事業の概況(第2四半期売上構成比)】



【セグメント別の業績】

医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の3分野に注力している医薬品事業は薬価改定の影響を受けつつも全般的に堅調に推移しました。製品別にみますと、内科領域の主力品である甲状腺ホルモン製剤「チラーゼン」が37億9千万円と堅調な売上高を維持したほか、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も24億6千4百万円と好調に推移しました。産婦人科領域においてはGnRHアンタゴニスト「レルミナ」が37億3百万円、月経困難症治療剤「フリウェル」は16億6千7百万円と大幅な伸長となりました。また泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リニュープロレリン」が25億2千万円となりました。

以上の結果、売上高は256億1千9百万円、セグメント利益は27億9千7百万円となりました。

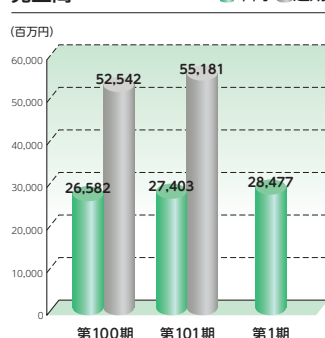
その他

動物用医薬品、臨床検査、医療機器等の各事業を展開しているその他事業につきましては、動物用医薬品事業における畜産薬品、飼料添加物を中心に売上が好調に推移しました。

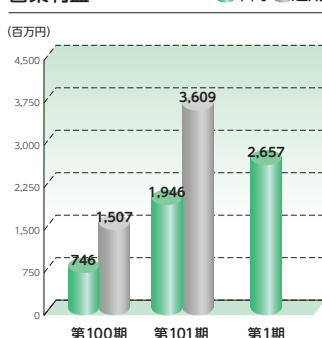
以上の結果、売上高は28億5千7百万円、セグメント利益は2億2百万円となりました。

あすか製薬ホールディングス財務ハイライト(連結)

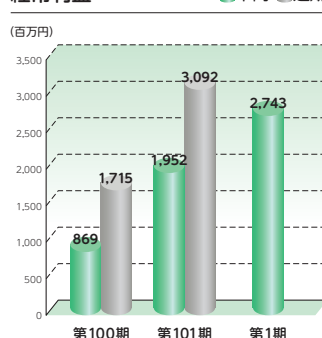
売上高



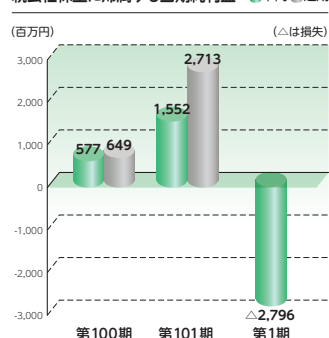
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



(注1) 当中間期末の自己資本比率は53.4%です。(注2) 第101期以前の値はあすか製薬株式会社として公表した値を参考として記載しております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前年度末 2021年3月31日現在	当中間期末 2021年9月30日現在
資産の部		
流動資産	39,932	40,451
現金及び預金	10,514	10,117
受取手形、売掛金及び契約資産	13,153	14,851
その他	16,264	15,483
固定資産	42,650	37,844
有形固定資産	12,675	12,347
無形固定資産	11,893	5,689
投資その他の資産	18,081	19,807
投資有価証券	12,503	12,938
その他	5,577	6,869
資産合計	82,582	78,295
負債の部		
流動負債	16,737	16,124
固定負債	21,334	20,380
負債合計	38,072	36,504
純資産の部		
株主資本	41,777	38,772
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	928	894
利益剰余金	41,790	39,919
自己株式	△2,139	△3,238
その他の包括利益累計額	2,733	3,018
その他有価証券評価差額金	2,824	2,987
その他	△91	30
純資産合計	44,510	41,790
負債純資産合計	82,582	78,295

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	27,403	28,477
売上原価	14,563	15,051
売上総利益	12,840	13,426
販売費及び一般管理費	10,894	10,768
営業利益	1,946	2,657
営業外収益	201	254
営業外費用	194	168
経常利益	1,952	2,743
特別損失	—	6,882
税金等調整前中間純利益(△は損失)	1,952	△4,139
法人税等	400	△1,342
中間純利益(△は損失)	1,552	△2,796
親会社株主に帰属する中間純利益(△は損失)	1,552	△2,796

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前中間期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当中間期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,311	1,417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△531	△427
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,722	△1,386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,057	△396
現金及び現金同等物の期首残高	7,294	10,514
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,352	10,117

◆ 婦人科疾患領域におけるレルゴリクス配合剤に関するライセンス契約合意

あすか製薬株式会社は武田薬品工業株式会社が保有するレルゴリクス（一般名）配合剤に関し、日本における子宮筋腫の独占的開発権および独占的販売権を取得するライセンス契約を締結いたしました。

レルゴリクスは、武田薬品工業株式会社が創製したゴナドトロピン放出ホルモン受容体拮抗薬です。あすか製薬株式会社は、既にレルゴリクス単剤の日本における子宮筋腫の独占的販売権および子宮内膜症の独占的開発・販売権を取得しており、2019年1月に子宮筋腫に基づく諸症状の改善（過多月経、下腹痛、腰痛、貧血）に対する治療薬として「レルミナ®錠40mg」を発売しております。

子宮筋腫は、過多月経、痛み、貧血などを伴う良性の腫瘍であり、不妊の原因にもなり得る疾患として知られています。30～40代に発症することが多く、日本では約200万人の女性が罹患していると言われています。あすか製薬株式会社は、産婦人科を重点領域のひとつとして女性のための健康サポートを推進しており、レルゴリクス配合剤は、子宮筋腫治療の新たな選択肢を提案するものと考えております。

◆ ラクオリア創薬との共同研究契約締結

あすか製薬株式会社はラクオリア創薬株式会社との間で実施中の、特定のイオンチャンネルを標的とした創薬研究に関する共同研究につきまして、これまでに得られた成果を活用して新薬の創出に取り組む新たな共同研究契約を締結しました。イオンチャンネルとは、細胞の内外へイオンを透過させる膜タンパク質の総称です。神経のシグナル伝達、筋肉の収縮、ホルモンの分泌などの様々な生理現象にイオンチャンネルが深く関わっており、イオンチャンネルの制御によって幅広い疾患を治療できる可能性があります。

【研究開発の状況】

武田薬品工業株式会社から導入したGnRHアンタゴニストTAK-385（レルゴリクス）は、子宮筋腫治療剤として発売しておりますが、効能追加として子宮内膜症を対象としたPhaseⅢ試験が終了し、2021年1月に製造販売承認申請しました。また、経口避妊薬として開発中のLF111（ドロスピレノン）は、PhaseⅡ試験が終了しました。

難吸収性リファマイシン系抗菌薬L-105（リファキシミン）は、肝性脳症における高アンモニア血症の改善薬として発売しておりますが、効能追加として小児肝性脳症を対象としたPhaseⅡ/Ⅲ試験を実施しております。

前立腺肥大症を対象としてPhaseⅡ試験を実施中の新規アンドロゲン受容体モジュレーターAKP-009（ルダテロン酢酸エステル）は、PhaseⅡa試験の結果をふまえ、最大効果を確認するために高用量での追加PhaseⅠ試験を2021年9月に開始しました。

なお、製造販売承認申請中であった選択的プロゲステロン受容体調節剤CDB-2914（ウリプリスタル）は、承認申請を取り下げ開発中止といたしました。

開発パイプライン（2021年11月時点）

開発番号（一般名）／領域・効能	PhⅠ	PhⅡ	PhⅢ	申請	承認
TAK-385（レルゴリクス） 子宮内膜症					申請済み
LF111（ドロスピレノン） 避妊			PhⅡ終了		
（オプション契約） PMS/PMDD治療薬 レナサイエンスにて開発中		医師主導 PhⅡ実施中			
（オプション契約） 子宮頸部異形成治療薬 キノファーマにて開発中		韓国にて PhⅠ/Ⅱ実施中			
L-105（リファキシミン） 肝性脳症（小児）			PhⅡ/Ⅲ 実施中		
AKP-009（ルダテロン酢酸エステル） 前立腺肥大症		PhⅡa終了*			
TAK-385（レルゴリクス配合剤） 武田薬品工業株式会社とのライセンス契約締結 開発準備中	TRM-270C（嚥着防止材） 産婦人科領域・消化器領域 東レ株式会社との共同事業化契約締結 開発準備中				

* PhⅡa試験の結果を踏まえ、最大効果を確認するために、より高い用量での検討が必要と考え、追加のPhⅠ試験を開始。（注）CDB-2914（ウリプリスタル）につきましては、承認申請を取り下げ開発中止といたしました。

あすかアニマルヘルス株式会社

◆ 医療用医薬品の動物薬転用により上市

2021年1月に発売した「チロブロック錠」は、国内で初めて承認された猫用の甲状腺機能亢進症治療薬です。この疾患は、猫に最も一般的に見られる内分泌疾患です。近年、猫の高齢化と検査の受診率向上に伴い、罹患猫の数は増加傾向にあります。

チロブロック錠は、有効成分の苦味をマスクするフィルムコート錠です。分割せずに処方できる低含量錠かつ飲みやすい小型錠であり、猫にやさしい猫のための製剤設計を実現しました。

あすかアニマルヘルス株式会社が製造販売承認を取得し、DSファーマアニマルヘルス株式会社が販売活動を展開しています。



株式会社あすか製薬メディカル

◆ 「毛髪ホルモン量測定キット ジヒドロテストステロン」発売

毛髪測定事業の第1弾として、2021年7月に「毛髪ホルモン量測定キット ジヒドロテストステロン」を発売しました（あすか製薬株式会社と共同開発）。この測定キットでは、AGA（男性型脱毛症）の原因のひとつとされる男性ホルモンDHT（ジヒドロテストステロン）が毛髪中にどれだけ含まれているかを測定します。独自の測定技術により、わずか1mg（5～10本）の毛髪を採取するだけで、容易にそのリスクを評価できるキットです。

この技術を応用し、男性更年期障害の原因とされるテストステロン量の減少や、ストレスによるコルチゾール量の増加を判定する検査キットの開発にも取り組んでいきます。



会社の概要 (2021年9月30日現在)

社名	あすか製薬ホールディングス株式会社 ASKA Pharmaceutical Holdings Co., Ltd.
設立	2021年4月1日
資本金	11億9,790万円
従業員数	776名(連結) (9月30日現在)
事業内容	グループ会社の経営管理およびこれに附帯する業務
本社	〒108-8532 東京都港区芝浦二丁目5番1号
グループ会社	あすか製薬株式会社 あすかアニマルヘルス株式会社 株式会社あすか製薬メディカル
持分法適用関連会社	Ha Tay Pharmaceutical Joint Stock Company 日本硝子産業株式会社 他1社

大株主 (上位10位) (2021年9月30日現在)

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,962	10.39
2. 武田薬品工業株式会社	2,204	7.73
3. ゼリア新薬工業株式会社	1,649	5.78
4. 株式会社三菱UFJ銀行	1,100	3.86
5. 株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,015	3.56
6. 山口 隆	882	3.09
7. 株式会社ヤマグチ	579	2.03
8. あすか製薬ホールディングス従業員持株会	563	1.97
9. あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	530	1.86
10. 日本生命保険相互会社	522	1.83

(注) 1. 当社は自己株式を2,061,300株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

●株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会等の内容	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座・の場合
・単元未満株式の買増・買取請求 ・届出住所・姓名などのご変更 ・配当金の受領方法・振込先のご変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株主事務に関する一般的なお問い合わせ ・特別口座に関するお問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話(通話料無料) 0120-232-711 https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

特別口座* 株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)に預託していなかった株券の株主様の権利を保全するために、三菱UFJ信託銀行に開設した口座です。特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

●ご案内:少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

役員 (2021年9月30日現在)

■取締役

代表取締役社長	山口 隆
代表取締役専務取締役	丸尾 篤嗣
代表取締役専務取締役	山口 惣大
社外取締役	吉村 泰典
社外取締役	山中 通三
社外取締役	播野 勤

■監査役

常勤監査役	熊野 郁雄
常勤監査役	福井 雄一郎
社外監査役	木村 高男
社外監査役	福地 啓子

■執行役員

常務執行役員	加藤 和彦
執行役員	軍司 国弘
執行役員	齋藤 淳一
執行役員	田村 聖彦
執行役員	山口 文豊

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式の総数	30,563,199株
単元株式数	100株
株主数	9,158名

株主の皆さまの声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。
●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4886

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入。)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンからもアクセスできます
カメラ機能でQRコード読み取り→QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
MAIL:info@e-kabunushi.com